

車両整備のための工作機械群パート2 ノコ盤

しばらく更新が遅れてごめんなさい。前回から始まった工作機械群シリーズですが、その種類1つひとつを掘り下げていこうと思います。今回はノコ盤に注目し、その使い方やちょっとした工夫点について皆さんに紹介していこうと思います。

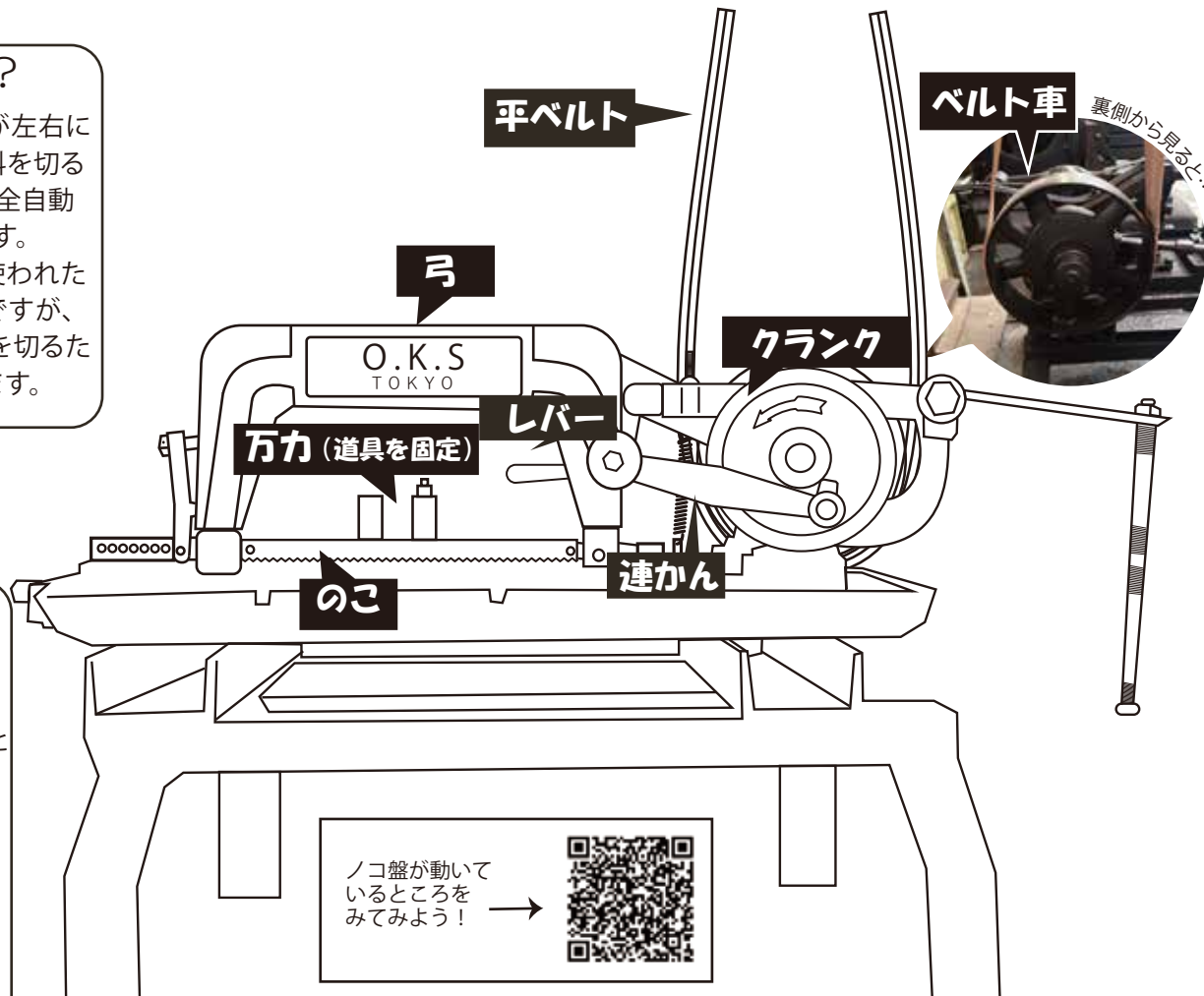
ノコ盤とは？

ノコ盤は、ノコギリの刃が左右に動くことで、その刃で材料を切るための機械です。いわば全自動ノコギリのようなものです。
"くりでん"でどのように使われたのかについては調査中ですが、おそらく、金属製の部品を切るために使われたと思われます。

ノコ盤の詳細

- メーカー
(株)OKSか？
銘板に「O.K.S TOKYO」とありますが、該当しそうな会社が複数あり、決めに欠けます。
- 導入年代
現時点では不明。
"くりでん"創業時であれば1920年、(株)OKS製のものであれば1955～1961年と推測されます。

どちらも調査中です。



物をどのように加工するのか？

①材料を固定する



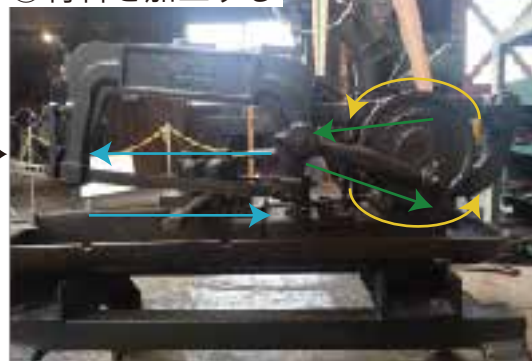
弓をあげて、加工する材料を置き、万力に固定させます。

②動力を伝える



主電源をいれると平ベルトが動くのにつられてベルト車が回り始めます。

③材料を加工する



クランクと連かんが動くことでのこが前後に動き、材料を切ることができます。クランクと連かんの動きは、まるで汽車の車輪のようです。

次回予告

車両整備のための工作機械群パート3 シェーパー

【くりでんミュージアムへの問い合わせ】

TEL:0228-24-7961

FAX:0228-24-7962

メールアドレス:info@kuridenpark.com